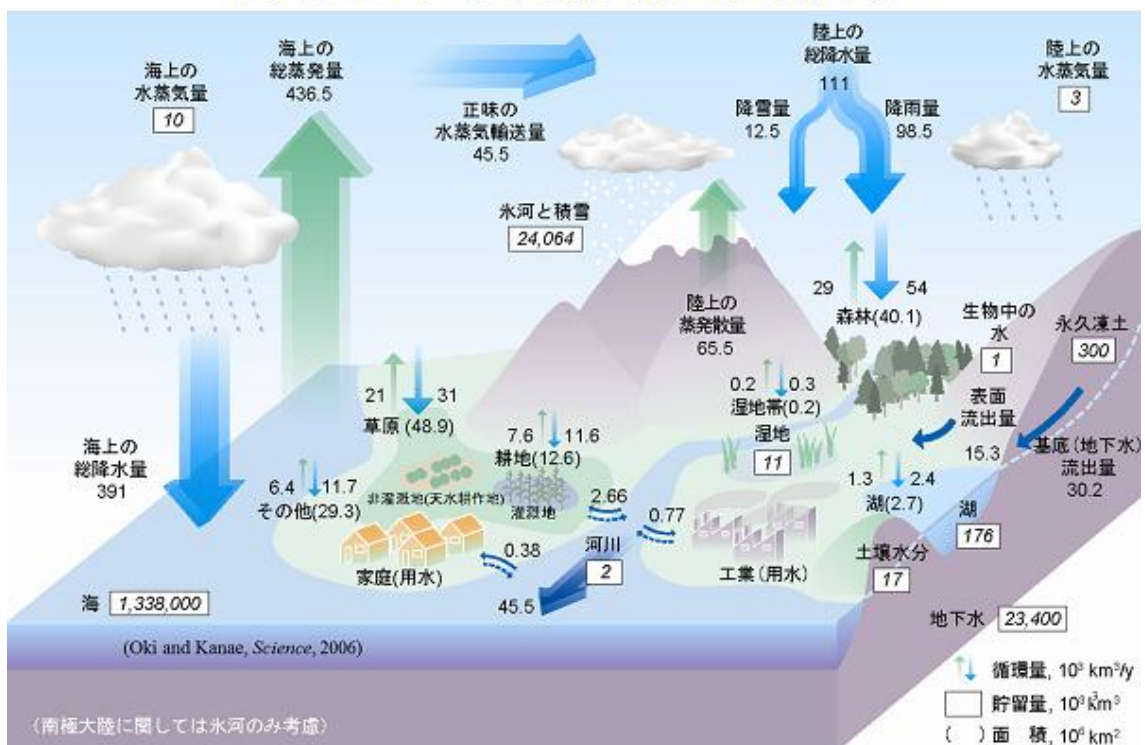


水問題・水に関する基礎知識

テーマ1：水はいつかなくなるの？

こちらの図を御覧ください。

地球上の水文循環量と貯留量

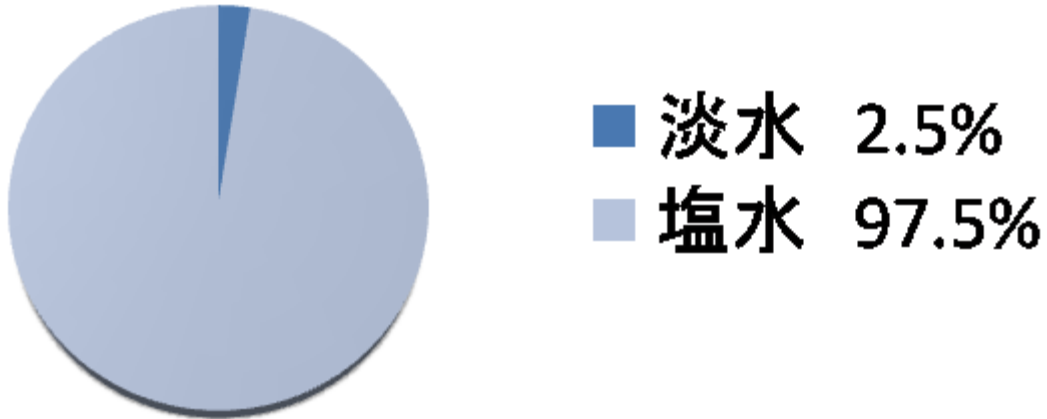


化石水を除き、水は石油や石炭といった化石燃料とは違い、
 ()、と言うものではありません。()に
 よって循環する()です。地球上の水の総量は変化()。

それでは、我々が使用出来る水は、地球上の水の内どのくらいでしょうか。
 図を御覧ください。

テーマ2：水は一体どこにあるの？

水の割合



地球上の水の（ ）%は塩水です。そのうち96.5%が海水です。
塩水の割合=海水の割合でないのは海の下にある（ ）や（ ）が塩水であるからです。

残りの（ ）%が淡水です。しかしその多くは（ ）のように使いにくい形です。なので実際に私たちが使うことができるのはたったの（ ）%程なのです。

テーマ3 : 0.01%の水は貴重？

貴方は、これが少ないと思いますか？

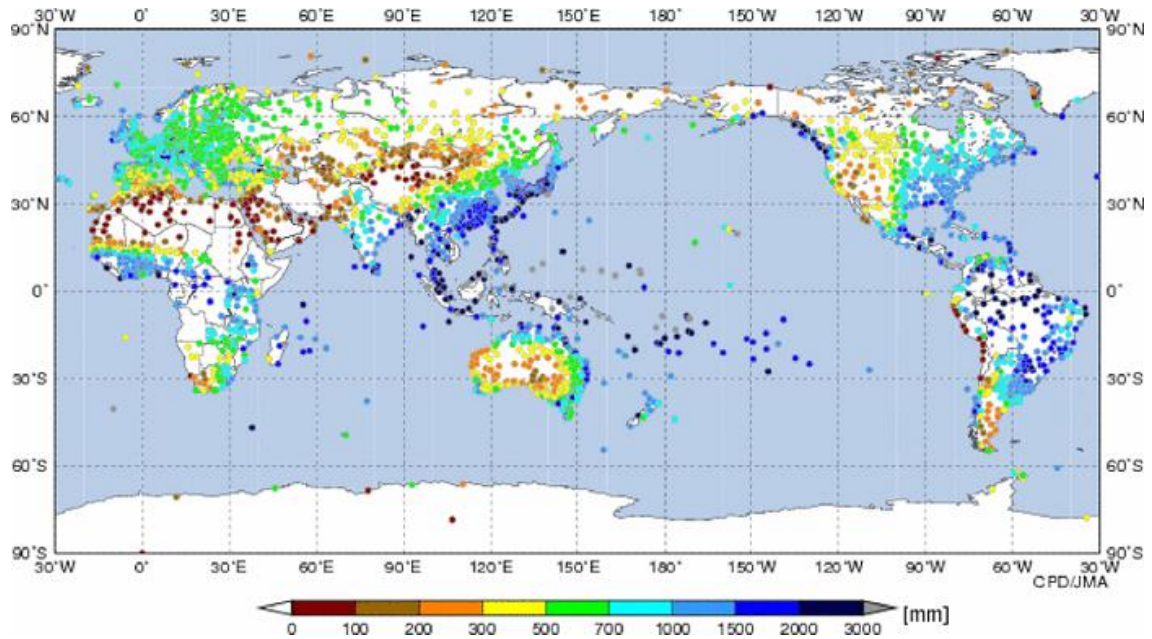
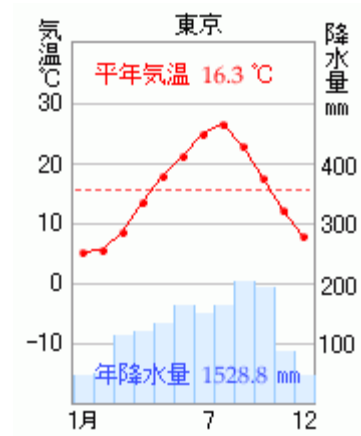
使える淡水が（ %）しかなくてもそれが人類にとって十分な量であれば水が不足することはありません。年間で、陸から河川を通過して（ ）へと流れる水は（ ～ ）万立方キロメートルで、人類が年間で利用している総量は（ ）立方キロメートルです。つまり人類は利用可能な水資源の約（ ）割しか使っていないことになります。

つまり、地球上には十分の水があるといえます。

テーマ4：なぜ水不足で困る人がいるの？

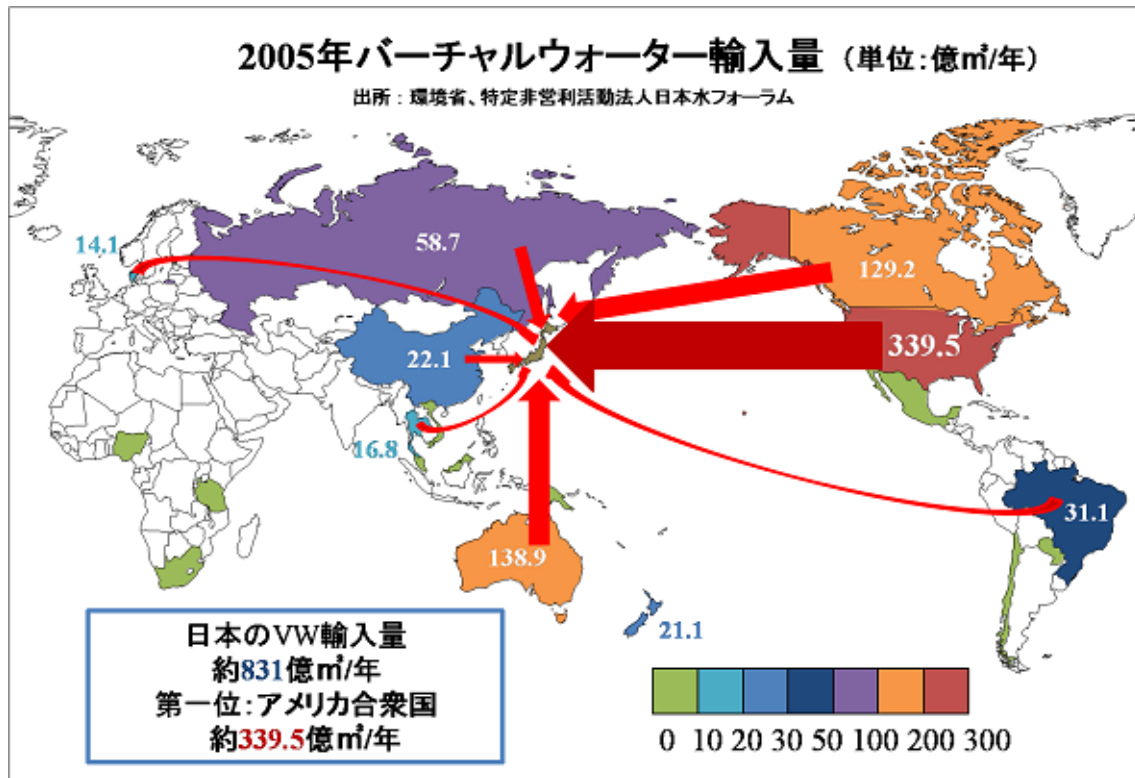
地球全体で見れば、水資源が十分であることはテーマ3でも述べたとおりです。しかし、水は必ずしも人が住む地域にあるわけではありません。

また時期によって手に入れないこともあります。日本でも（ ）や（ ）の来る時期と、晴れの多い冬とは降水量が違いますよね？



日本は世界的に見れば雨の多い地域であるといえます。

テーマ5：仮想水の考え方



仮想水は（ ）を算出するためのものです。ですからその物を作るのにどんな水を使ったかは考慮されていません。（雨水、川の水、地下水 など）つまり、その水が貴重な水かどうかも分かりません。（ ）が多いからといって（ ）に悪い影響を与える、と決まっているわけではありません。

また、水が豊富でない場所に無理矢理水を運んできて（ ）をするより、水が手に入りやすい地域で（ ）の方が体積もへり効率的です。

日本が仮想水を輸入しているのは水が足りないからではなく、（ ）が足りないためです。

仮想水貿易と言うよりは、（ ）、というわけです。

しかし仮想水輸入量が多い、ということは世界のどこかで起きた（ ）が私たちの食卓にも影響するということです。一方で（ ）をいっさいしない、となると日本で何か問題があったときにその影響を大きく受けることにもなります。